

「自分のメールで息子が津波の犠牲に…」 震災“語り部”になった女性が伝えたいことは？

8/12(金) 19:53 配信 19



tbc東北放送



東北放送

東日本大震災から11日で、11年5か月が経ちました。震災の津波で息子を亡くした宮城県石巻市の女性は、あの日の後悔を胸に、「自分と同じ思いはしてほしくない」と市内で語り部活動を続けています。

■語り部の三條すみゑさんは震災を伝える

語り部の三條すみゑさん：

「ここはたくさんの方が亡くなっている。子どもたちだけではなく、地域の人たちもなくなっている。お話しする前に小学校に向けて手を合わせてからお話しする」

8月を迎え、石巻市の気温は連日30度を超えるようになりました。震災遺構・大川小学校でボランティアで語り部の活動を行うのは三條すみゑさん（64）です。

三條さんは震災で当時17歳だった三男の泰寛さんをなくしました。

小学校で、三條さんが語り掛けます。

三條すみゑさん：

「大川小学校は昭和60年に合併し、モダンな素敵な小学校に。今見ても素敵な、モダンな学校。ですが、3月11日、山に避難した人が夕方撮った写真がこれです。この白いのは雪です。そのくらい寒かった」

この日は東京から訪れた家族連れが三條さんの話に真剣に聞き入りました。

三條さんは家族を、大川小学校から2キロほど東側の長面地区に案内しました。ここは、三條さんが、夫と長男と次男、それに亡くなった泰寛さんと家族5人で暮らしていたところです。

語り部の三條すみゑさん：

「ここも108人亡くなっている。これが街並み、半分です」

長面地区にはおよそ500人の暮らしがありました。しかし、震災の津波により景色は一変。災害危険区域に指定され、人が住むことは出来なくなりました。

三條さんは4年前、石巻市内陸部に自宅を再建しました。

自宅での三條すみゑさん：

「きょうも何事もなく無事に過ごせますように、と必ず唱えながら手を合わせてます」

三條さんは、自宅の仏壇で亡くなった泰寛さんに語りかけるのが日課となりました。

三條すみゑさん：

「暴れるとか騒ぐというような子ではなかった。何でも「いいよ」とやってくれる大人しい子だった」

泰寛さんは、高校の卒業式を終えたばかりで学校には行っておらず、あの日、長面地区の家をいたといひます。

外出していた三條さんは揺れが襲った直後、泰寛さんとは電話が通じなかったため、メールでやり取りをしました。



■「自分と同じ思いを経験してほしい」三條さんは伝え続けます

三條すみゑさん:

「『いまラジオで津波警報が出ているから逃げろ』と連絡しました。そこまでは良かった。そのあとに『おっ母も今そっち（自宅）に向かっているから』と送ったんですね」

この11年、三條さんは泰寛さんが自宅からの避難中に津波に流されたものだと思っていました。しかし去年、長男から思いもよらない事実が明かされたのです。

三條すみゑさん:

「（送ったメールの内容が）『おっ母もそっちに向かっているからな』だっで、そのために逃げずに家で待っていたというのを初めて知りました」

メールを見た泰寛さんは、避難せず三條さんの帰りを家で待っていて津波に襲われたというのです。それを聞いた直後、三條さんは自分を責めたといいます。

三條すみゑさん:

「でももう、後悔しても戻ってこないじゃないですか。だから、こんなことは二度と起こしてほしい。他人ごとじゃなく伝えていかなければと思ってお話ししますが、高校生なんかを見ると思い出します」

語り部活動を続けるのは、自分と同じ思いを他の人には経験してほしいという思いからです。

自宅があった場所近くの防潮堤の上で、東京から来た家族に説明します。

三條すみゑさん:

「（震災の朝に撮影した）自分の家なんですけど、こういう風に雪が。それが土台だけになってしまった。

2011年3月31日に撮ったんですけど、土台だけになってしまった・・・。

きょうは長々とありがとうございました」

三條さんの話を聞いた人:

「実際に語り部さんのお話を聞くことが今まで無かったので、貴重な経験になった。1日1日、自分の命を大切に生きていけたらと思った」

「もう二度と（同じようなことを）起こさないように対策していかないと考えた」

三條さんが、かつて自宅があった場所を指し示しました。

三條すみゑさん:

「分からなくなりますね、やっぱりね。大体こちら辺ですね」

三條さんが泰寛さんら家族と暮らした自宅があった場所です。

三條すみゑさん:

「何もなくなっていました」

何もなくなってしまったこの場所で三條さんはこれからも語り部活動を続けます。

三條すみゑさん:

「また元のような町にしていきたいなってずっと思っているの、この話をして何とか続けていきたい。そして二度とこういう風な経験は無いようにと思いますね」

